

公開講座「確率を知ろう」開催

和歌山工業高等専門学校（北風 幸一校長）では、7月23日（土）に公開講座「確率を知ろう」を総合教育科（秋山 聡 主任）が開催し、中学生9名、保護者8名が参加しました。

参加者は、講師の秋山教授から確率の具体的な意味や、確率を使う場面で共通している事柄についての講義を受けた後、ビー玉を使った確率実験の装置作成を行いました。

参加者の多くはナイフを用いた材料切り出しの経験が無く、最初は緊張気味でしたが、完成間際には椅子から立ち上がって熱心に装置の作成に取り組んでいました。小休止の後に参加者は実験を行い、偶然に左右されたビー玉の振る舞いを興味深そうに見守っていました。

その後、実験結果が実験前の予想と合っているかの確認を行い、なぜそのような形になるかの謎解きや、その背後に潜む「場合の数」の数学の解説に聞き入っていました。

終了後のアンケートでは「ビー玉がどこへ行くかの確率が分かるのが面白かった」「自分で装置を作って実験したので、たのしかったし、わかりやすかった」など、確率を深く理解することができたことに対する喜びの意見が寄せられました。



講座の様子